

# JAITI 34

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL [jaiti@janis.or.jp](mailto:jaiti@janis.or.jp)

JAITIとは、「財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの略文字の略で「ジャイイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる糧」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

行 所 財団法人 日本農業研修場協力団  
〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5  
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

## 今日のジャイイチ

「ネパールにおける事業は、ネパール人の手で」という基本方針に沿って、現地法人ネパールジャイイチの社長が菊池健介氏からアルジュン・シン・トラチャン氏に代わりました。これによって、ジャイイチネパールは日本側とより対等で親密なパートナーシップ確立の一步を踏み出したといえます。

Mr. Kensuke Kikuchi, President of NEPAL JAITI was replaced by Mr. Arjun Shingh Tulachan. However, the legal decision will be done in March 2008.



▲バシファント学校移管手続きのため、11月15日に行われた会議。教育部総監、法律担当官、学校担当官等とネパールジャイイチの教育アドバイザーのグルン氏

On November 15th 2007, a conference was held to transfer Basiphant School to local community, in close cooperation of national educational officials.

今までジャイイチネパールは、日本のジャイイチの支店であり、すべての方針、予算を含め、重要事項は日本側の許可、承認、同意を得て行うことが原則でした。今後は、現地に根ざした事業を行うために、日本ジャイイチからの指令待ちの組織ではなく、自ら企画立案し、将来に向けて日本側と様々な提案をし、協力して事業を進めるようなパートナーとして共に歩んでいきたい

## ジャイイチネパール 社長就任挨拶

An inaugural address of new president of NEPAL JAITI.

この度、ネパールジャイイチの社長に選出いただき、感謝いたします。すと共に、社長としての重責を強く感じております。ネパールは、ヒマラヤ等、山岳の国で、山と谷が大変多い国です。

みんなお子さん、お母さんたちの顔を見ると、大変心が痛みます。本来、農業は人間社会の基礎ではないのでしょうか。水のことを知らない魚と、農業のことを知らない人間は一緒だと思えます。ジャイイチはそういった地域に学校を造り、同時に「衛生」という概念も取り入れました。また農業についても付加価値とは何か等、様々なものを取り入れてくださいました。現在、私はボランティア



で造った山の中にある学校を運営しております。ジャイイチが作りあげたものを見本に様々なものを取り入れたい。学生には、勉学はもとより、衛生について「例えばトイレ、手洗いの励行等」子どものうちから教えていきたい。また、農業の大切さを教科に取り入れたと考えています。ジャイイチが築き上げてきた理念を継承し、先達に恥じないよう頑張りますので、今後とも宜しくお願いいたします。

カトマンズでサンセットビューホテルを、ムスタン郡でロッジ・タンサン・ヴィレッジを経営。同時にツクチエで二つの学校をボランティアで運営。

と考えています。昨年九月に社長就任手続きのため、日本より前社長菊池健介氏、島田常務理事がネパールを訪問し、様々な手続きを行いました。ネパールの法手続きは、時間がかかるため完了するのは三月頃の予定です。また、猪爪理事も同行して事業視察をおこないました。

◆バシファント学校 移管完了しました。ネパールジャイイチでは、グルン氏により、地元への本格的な移管手続きに入りました。

◆カカニ実験研修農場 マオイスト(自称)の爆破事件(二〇〇五年一月二十九日)により、アグロツーリズム(農村観光)事業は停滞してしまいました。その後カカニ実験農場の運営については、土屋評議員らの報告をふまえて理事会などで検討してまいりました。

二〇〇六年ラクバ農場長へ三年契約で賃貸契約を結び、管理を任せておりますが、二〇〇九年六月に契約が終了します。今後については、ネパールジャイイチにて検討しております。





▲カカニブライダースクール、ナーサリー（年少組）の昼食風景。  
In Nepal, very few schools have school lunch system, while many schools have it them in Japan. Kakani Brighter School has asked the parents not to make their children bring lunch of chauchau or biscuits for the school.

## ネパールの教育と カカニ・ブライダースクール 岡 生子

The school system of Nepal has 4 steps. Class 1 to 5 Primary School, Class 6 to 8 Lower Secondary School, Class 9 & 10 Secondary School, Class 11 & 12 Higher Secondary School. Kakani Brighter School has 2 classes: Nursery and KG class preparing for entering primary school.

ネパールの教育の現状について言うと、大きく分けて公立と私立があります。それは日本と同じですが、最も違う点は、各学年の年齢が決まっていないということです。原則は決まっていますが、親の希望に

よって学年が決められることもあり、一年生でも五歳がいたり、七歳がいたり、クラスの子どもの年齢がまちまちです。それから各学年で進級試験があります。それはナーサリーやKG（年少組、年長組）でも同じです。この試験に合格しないと次の年も同じ学年で過ごすこととなります。ただ、出来る子どもは飛び級もあります。公立と私立の学校の大きな違いの一つは、授業料です。公立は安く、私立は高いです。これもだいたい日本と同じです。そして、どちらも制服があります。一般的には公立の学校は、ブルーのYシャツと紺のズボンやスカートが多いですが、

私立はその学校独自の制服を作っています。ちなみに、カカニ・ブライター・スクールの制服は、ジャイチのカラーを取り入れて、緑を基調に考え、上着は赤に緑と黄色の格子柄です。緑の多いカカニでは、子どもたちの赤い色の制服は遠くから見てもよく目立ちます。また、ネパールの学校では給食のある学校は少ない

です。カカニの学校も給食がありません。しかし、開校時に父母への説明会においてお願いをして、「チャウチャウ（インスタント・ラーメン）やビスケットだけは持っていないように」と伝えました。今ではほとんど全員とっていいほど、家から手作りのお弁当を持ってきています。中には、鶏肉や卵が入っているお弁当も見られます。カカニのお

母さん、頑張っているなあと思います。嬉しいですね。他の学校の子どもが持つてくるお弁当は、チャウチャウやビスケットが多いです。学校教育の内容は、ほとんどの学校が英語、算数の授業に力を入れています。カカニの学校のナーサリーやKGでは、登校時、自分たちで教具を選び遊びの中から勉強の基礎を学んでいます。地域に根ざした質の良い教育を与えられる場として、カカニの学校は今もさらさら輝く眼をした子どもたちのために、先生方が日々努力をしてくれています。

母さん、頑張っているなあと思います。嬉しいですね。他の学校の子どもが持つてくるお弁当は、チャウチャウやビスケットが多いです。学校教育の内容は、ほとんどの学校が英語、算数の授業に力を入れています。カカニの学校のナーサリーやKGでは、登校時、自分たちで教具を選び遊びの中から勉強の基礎を学んでいます。地域に根ざした質の良い教育を与えられる場として、カカニの学校は今もさらさら輝く眼をした子どもたちのために、先生方が日々努力をしてくれています。

また、ネパールの学校では給食を作っています。ちなみに、カカニ・ブライター・スクールの制服は、ジャイチのカラーを取り入れて、緑を基調に考え、上着は赤に緑と黄色の格子柄です。緑の多いカカニでは、子どもたちの赤い色の制服は遠くから見てもよく目立ちます。また、ネパールの学校では給食のある学校は少ない

### ネパール事情

#### ◆政治動向等

平和の国ネパールの様々な政治の混乱については、マスコミ各方面からの報道等でご存知の方も多いとは思いますが、安定には、まだ時間が必要のようです。昨年十一月二十二日に予定されていた国政選挙は、今春に延び、日程はまだ調整中とのことです。

二〇〇六年十一月、主要政党とマオイストとの間で包括和平協定が調印され、一九九六年以来の「人民戦争」は安定へ向かっていきます。しかし、王政廃止に対しては王政側からの反発、テロ等の不確定要素もあるようです。多くの国民は総選挙の実施、国内安定を待ち望んで

#### ◆主な産業等

就業人口の約七割、GDPの約四割を占めています。米や小麦、トウモロコシ、ジャガイモ、ジュートなどが主たる農産物としてあげられます。しかし、基幹産業である農業は、急峻な地形に阻まれて耕地は狭小です。それ以外は、繊維と観光が主たる産業となっています。また、国王派とマオイストとの闘争の影響で観光客は減少しています。

ネパール国土には多様な民族が住んでおり、宗教はヒンドゥー教徒が八六％、仏教が八％を占めています。ジャイチが関わるシンパンジャン、カカニには、優秀な農耕民族であるタマン族が多く住んでいます。

#### 主な社会指数

国名	ネパール	バングラデシュ	インド	フィリピン	タイ	日本
総人口（単位100万人）	27,133	141,822	1,503,371	83,064	64,233	125,085
人口の年増殖率（％）	2.3	2.4	2.1	2.6	2.1	0.8
総人口に対する15歳未満の割合（％）	46	42	38	42	29	17
乳児死亡率（1歳未満）（1000人）	56	54	56	25	18	3
5歳未満死亡率（1000人）	74	73	74	33	21	4
妊産婦死亡率（100,000人）	540	320	540	170	24	8
15歳以上の識字率	49	-	51	93	93	100
内男性の識字率	63	-	73	93	96	100
内女性の識字率	35	-	48	93	91	100
平均寿命（年）	62	64	64	71	71	82

出典:ユニセフ「世界子供白書2007」

総人口に対する15歳未満の割合は、日本の17%に対しネパールは46%である。ネパールの成人識字率（15歳以上）は1992年の25.6%から2005年には49%まで改善したが、ネパール、インドにおける男女の識字率の差は大きく、ネパールでは男性65%、女性35%である。その影響は特に農村部に多く、ジャイチネパールの教育アドバイザーであるグリンさんは、「村を変えるのは家庭、家庭を変えるのは妻となり母となる女性。そのためにシンパンジャン学校で学ぶ子どもたちの男女数を同じにしたい。女性の先生の雇用も進めたい」と力説する。

According to "White Paper on Children in the World" published by UNICEF, the population of children(under 18 years old) is 46% of total population in Nepal, while it is only 17% in aging Japan.



## ネパール農業報告

(九月・十一月・十二月)

## ◆ネパールも異常気象

地球温暖化とか異常気象といわれますが、ネパールも例外ではありません。以前からヒマラヤの雪線の上昇、水河がとけて思わぬ所に湖が出現したり、洪水など聞いており、「細るヒマラヤ」に実感がもります。

◆ナムター村と周辺の状況  
アブナナ科、根コブ病対策として、他科のいろいろなやさしい種子を持ち込み試作をしましたが、多雨、強風などの影響を受け、結果の見えないものが多かったことは残念でした。キユ

ウリ、スイートコーン、インゲン、人参などについては、はっきりしたことが言えない状況です。

春作物であるジャガイモについては、異常気象の影響も少なく、日本から男爵とアンデスの二品種を持ち込みましたが、特にアンデスが好評で、本年面積を拡大して挑戦することになりました。好結果が期待できそうと考えています。

また、最近日本で注目されている品種も持ち込み試作をしたいと考えています。ホウレン草も春作は好評でした。もう一年試作して結論が出そうです。

なお、アブナナ科ではありませんが、長野県の特産品

である野沢菜も現地の菜類より評価が高く、もう一年結果を見て判断します。

圧倒的シェアを占める美濃早生大根に変わる品種として、青首系大根、支那青大根も注目を集めています。

◆イチゴの検討  
導入を進めています。日本からウィルスフリー苗を持ち込み、積極的な農家に増殖を依頼、近隣農家へ拡大すべく取り組みを始めました。今後が楽しみです。

◆カカニ地区の近況  
気象災害に悩んでいることはナムター村と同じです。カカニ地区でも連作障害など考慮するとイチゴ以外の作物選定が重要であり、スイートコーン、インゲン、サツマイモ、ジャガイモ、エンドウ豆、キウイフルーツなどの栽培を進めています。

私がネパールへ通い始めて六年間、あまり問題とな

らなかつたイノシシ、シカ、ネズミ害などが昨年急増。被害甚大です。

現在あるフェンスの整備などできることに地道に取り組みたいと考えています。

(農業指導員 土屋典世)

## ネパールでの医療協力活動

滝 和美



▲NDH(ナショナルデンタル病院)での手術風景  
A medical group led by Dr. Taki made 23 oral surgery operations at National Dental Hospital in Katmandu for 7 days from September 3rd 2007.

今回初めてジャイチの協力を得て、昨年九月二日、九日、NDH(カトマンズのナショナルデンタル病院)で口腔外科手術(二十三例)を中心にした奇形児の健康治療を行いました。

先号でも紹介された「デントルキヤンブ」をバシファントで行ったNDH、現地ロータリークラブの資金援助、カトマンズにあるNDHの病院施設提供と職員のボランティア活動、そして日本から参加した七名の医師・看護士によって、この治療・手術活動が実現しました。

NDHのブラッシュアップ・シュレスタ先生は、日頃から、自国医療者による自国人への医療を広めようと

苦心しています。しかし、給与の低さと医療費を払える患者の少なさが悪循環となり、医師・看護士の国外流出に歯止めがかからない。ネパール国内で、何とか手術医療を継続させられないか悪戦苦闘しています。

今回、限られた短い時間しか治療し得ないチームだったため、カトマンズで集中手術を行う方が良くと考えましたが、大雨で道路が不通になるなどのアクシデントもありました。

歯科教育が始めてやっと

十年。今後も歯科・口腔外科の教育・研修・治療に日本から微力ながら支援を続けていきたいと考えております。

デンタルキヤンブでバシファント地域を巡回フィードバックにしても良いでしょう。ジャイチの活動と協同できるよう、また日本側の医療従事者とネパール側のカウンセラーパートナーも頑張っております。

何事も一歩一歩しか進みませんが、ジャイチ会員の皆様にも、私どもの活動に御理解・御協力賜りますようお願いいたします。

滝先生は、バシファント学校の教員宿舎(二階建)の寄付・ジャイチツアーにも数回同行してお手伝いいただきました。



▲イチゴ栽培を始めたら、十人目に初めて男児が誕生、ストロベリーファミリーといわれています。イチゴに感度大。大きい子どもたちは学校などで留守。後列右はジャイチネパールのKCさん。左は筆者。

A photo of Surje family who are very aggressive to raise strawberries. JAITI delivered Virus free seedlings to 3 families including this family to grow them.



Mr. Tsuchiya, a member of JAPAN JAITI taught agricultural technology to local farmers in Namtar and Kakeri Village.

◆ナムター村のキャベツ栽培も根コブ病の発病しないアブナナ科以外の野菜栽培の推進と同時に、アブナナ科の栽培も収益性の高さからやめられませんが、いろいろ対策があり、それらも併せて指導しています。



## 事務局だより

## ▼ジャイチ

- 7月・マン理事がジャイチネバールの決算のためネパールへ出張  
・機関誌30号を発送(約1400通)
- 8月・三尾和子さん(大塚府)が、バシファント学校10年生漢字学習会へ参加
- 9月・滝和美区新地ちねネパールで歯科医療保健協力を実施  
・島田常務理事・篠川理事・菊池健介氏がネパールへ出張  
・土屋農事指導員が農業の指導でネパールへ出張
- 10月・グローバルフェスタ2007参加(日比谷公園)  
・まるこ国際交流フェスティバル参加(上田市)  
・世田谷フリーマーケット(世田谷区)  
・(社)国際農林業協会に18年度助成申請書を提出  
・カカニ農場で勤務していたスミタ・シュレスタさん事務所訪問  
・長野県に公益法人調査書を提出
- 11月・機関誌34号編集会議  
・(社)国際農林業協会協会の専門家派遣支援事業決定  
・土屋農事指導員が農業の指導でネパールへ出張
- 12月・機関誌編集会議及び作業  
・公益法人説明会出席  
バザーをありがとうございました。  
・グローバルフェスタ2007(東京都)  
・まるこ国際交流フェスティバル(長野県)  
・世田谷フリーマーケット(東京都)

## ▼ジャイチネパール▼

- 7月・S.L.Cの試験結果11名中8名合格(73%)  
・カカニ農場のイタゴ、ジャノヘ病のため全滅。別の作物についても検討。  
・ネパールジャイチの決算を行う。  
・バシファント学校、カカニプライダー学校 夏休みに入る
- 8月・バシファント学校では、畜管理について学校と父兄会(SMCC)と協議。32名入寮  
・バシファント地域アコル村でキウイフルーツの苗を植樹  
・グルン氏、バシファント学校の移管について、県の教育事務所と打合せ
- 9月・日本より菊池常務理事、島田、篠川理事、アルジュン・シン・トラチャン氏の選手続のため、ネパール訪問。  
・土屋農事専門官派遣。  
・バシファント学校で寒気充のための、一俵雑物手直し。  
・滝和美氏他5名により歯科口腔保健衛生指導を行う。
- 10月・デザイン(ネパール最大のお祭り)の為、バシファント学校、カカニプライダー学校 15日間休校  
・デザインに際し、バシファント学校ではサッカーの試合、カカニプライダー学校では書道ショーを行う  
・カカニプライダー学校でPTA学校協力委員会設立
- 11月・バシファント学校、カカニプライダー学校、ティハル(ネパールのお祭り)の為5日間休校  
・バシファント学校、カカニプライダー学校で定期試験  
・土屋農事専門官派遣(11月28日～12月7日)  
・グルン氏、政府教育省高官、田舎者等とバシファント学校の移管について協議会開催
- 12月・バシファント学校、カカニプライダー学校、2回日の定期試験  
・ジャイチネパール事務局において、マオイスト地域長からの要求事項を聞く  
・里親の神崎さん、バシファント学校訪問。

## 里親だより

くろやなぎ

畔柳茂樹



Mr. Kuroyanagi who has undertaken a sponsorship to class eight, visited the Bashiphant school in this winter 2007. He said to us that it was a very beautiful and happy time for him.

カトマンズを出発して約五時間、ようやくバシファントスクールに到着しました。入口に何やら生徒たちが整列していて、車から降りると花の首飾りをつけてもらい歓迎してもらいました。何と整列していたのは里子の八年生ではありませんか！到着時間が定かではないのに、にしばらく整列して待っていてくれたようです。感謝、感激！その後、私から自己

紹介とプレゼントを渡し、子供たちから自己紹介と将来就きたい職業について語ってもらいました。先生、医者、看護士、科学者、パイロット等々、ひとりでも多くの子供たちが自分の夢を表現できることを願わずにはいられません。子供たちとの交流の後、校長先生に校内を案内してもらいましたが、公立学校に比べ設備は充実しており

恵まれた環境で学習していることがよくわかりました。里親の皆さん！簡単ではないですが時間を見つけて訪問されてはいかがですか？言葉では言い表せない幸福な時間を過ごせますよ。子供たちが卒業するまでにもう一度訪問したいと思いつながら帰国の途につきました。最後にアレンジ下されたKCさん、土屋先生、豊田さん本当にありがとうございました。

## お願い

## ◆荷物運搬のお願い

ネパールへ渡られる時、ジャイチの荷物(主に文房具・カバンなど)を運搬可能な方のご連絡をお待ちしています。

## ◆「肩掛けカバン」

バシファント学校の一、五年生が使用する布製カバンを縫って頂ける方・布を寄付して頂ける方、事務所までご連絡ください。



## 編集後記

毎年、初日の出を拝みに里山へ登るのだが、今年のご来光は雲海の上、数年ぶりに雲りのない眺めなものだった。二〇〇八年は、私が出し切り清らかな流れが現れてくるという。

ネパールの国情もさうだが、日本の国政も是非そう願いたいものだ。

本号より少しだけ英文を挿入してみました。NGOとしてネパールをはじめ世界の方々にも読んでいただくために。

ご意見お寄せください。(巻)

## 奨学里親募集

## バシファント学校

九年生の里親一名、十年生の里親一名を募集しています。奨学金は年間六万円です。期間は九年生の里親は二年間、十年生の里親は一年間です。里親になっていただきますと、学生からの手紙、写真の送付と、学年末に進級の報告があります。よろしくお願いたします。

## 物故者のお知らせ

支援者の方で、当方で把握している物故者を掲載いたします。ご冥福をお祈りいたしますと共に、今までのご支援に対し感謝致します。

和泉浩輔様

平成十九年七月(宮城県)

小林五十五郎様

平成十九年七月(長野県)

茅整三様

平成十九年九月(東京都)

## 国際交流フェスティバル

## in MARUKO

十月七日、まるこ国際協力フェスティバルが地元上田市丸子文化会館で開催されました。ジャイチは五回目の出展になりました。

入場者は五千人を越え、地域の活動を知り、外国人の方々とふれあう機会を得ました。今年も参加する予定です。

## 土佐忠蔵様

平成十九年九月(広島県)

## 染矢純一様

平成十九年九月(徳島県)

## 北澤良利様

平成十九年十月(長野県)

## 佐藤澄男様

平成十九年十月(愛知県)

## 勝見善門様

平成十九年十一月(長野県)

迎明様

平成十九年十一月(静岡県)